



笹賀の世帯数・人口
世帯数 4,561 世帯
人口 10,792 人
男 5,413 人
女 5,379 人
(令和3.1.1現在)

新成人の声

上田 凌さん

二部制にはなりましたが、成人式がいろいろな皆さんのおかげで行える事となり感謝しています。4月から就職をして社会人となり、親元を離れて一人暮らしを始めます。いろいろな不安はありますが、自立するという事、自分でお金を稼ぐ事、ワクワクしています。

【※直前での延期となりました】

河越 明さん

高校を卒業して就職しました。学生時代と違い自分でお金を稼いでいます。何をやるにも責任という言葉がついてきます。二十歳になったからというわけではありませんが、今まで以上に自分の行動に責任をもって生活していきたいです。

長瀬 きなりさん

保育士さんになるとい夢があります。読み聞かせが好きなので、子どもたちに本の面白さを伝える読み方をしたいです。5歳児くらいになると自分で想像しておはなしを聞けるようになるので「惹きつける読み聞かせ」そんなことが出来る保育士さんになりたいです。

丸山 詠幹さん

中学生の時、担任の先生に「二十歳になったら一緒にお酒が飲めるな」と言われて楽しみにしていました。でも、夏に開く予定だった同級会は中止になり、成人式の後の集まりも無理なので残念です。でもコロナが終息したら、みんなで会えるのを楽しみにしています。

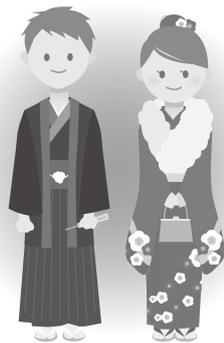
車の免許を取りました。車

令和3年 松本市成人式

1月10日(日)松本市総合体育館で令和3年松本市成人式が開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、令和3年5月9日(日)へ延期となりました。例年とは異なる2部制での開催、当日の式典の様子は動画サイト(YouTube)でライブ配信される予定でした。

今年の対象者は平成12年4月2日〜平成13年4月1日生まれの方で、笹賀地区では、113名(男性60名、女性53名)が晴れて成人を迎えました。おめでとうございます。

の運転だけではないですが、いろいろなマナーを守り、自立する自分を目指したいです。



小林 真緒(菅野) 12歳

今年、バレーボールをがんばって、六年生になったから勉強もむずかしくなるから勉強もがんばりたいです。この二つが今年の目標です。

岩垂 美穂(上小俣) 48歳

娘が二十歳になります。前の年はコロナで一年が過ぎました。今年も健康で一年過ごせるようにしたいです。

上嶋 文江(出張所職員) 48歳

昨年はコロナにより生活様式も一変し、職場でも多くの対応を求められ、大変な年でした。今年も気を引き締め、職場の仲間一丸となり、コロナに打ち勝っていきたいと思います。

年男・年女 今年の抱負



信州スカイパーク 干支のオブジェ

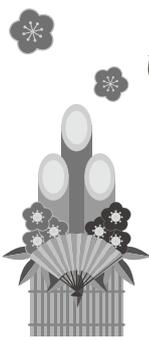
岩垂 和典(上小俣) 60歳

今年「還暦」を迎えます。現代は急速なスピードで変化していますので、取り残されないように自分自身「変革」することが必須なのだと思っています。干支が一周して赤ちゃんに還るわけですから、第二の人生を始めるつもりで、これからの様々な事にチャ

レンジしていこうと思っています。

K・T(下二子) 72歳

昨年はコロナで身も心も落ち着かなかったので、今年には穏やかな年でありたいように。



下小俣の女性の行事

『お観音さまとお八日念仏』

ようか ねんぶつ

お観音さまは昔は毎月十七日、各家を当番制で回ってきました。公民館に集まり、掛け軸、おだんご、果物、お菓子、お花を飾り全員で般若心経を唱えます。終わると当番さんの用意してくれた、お茶とお菓子を頂きます。昔は料理が十五品、リヤカーで公民館へ運んだんだよ！と話してくださる方もいました。時代と共に回数も減り、今は年一回の行事となっています。コロナの影響で、今年のお観音さまは中止となりましたが、当番さんの家で掛け軸を出し、お参りをしてくださいました。



今年のお観音さまのようす

お八日念仏は、白尾稲荷神社にある社で二月八日に行わ



社のなかで、お八日念仏を行います

れます。今はその日の近くの日曜日に町会行事で行われます。朝早く家の入り口で、初やわら、唐辛子などを燃やし、煙と臭いで邪気を払います。その後、社へ行き車座に座り、南無阿弥陀仏と唱え、長い数珠を五十回まわります。以前は百回だったそうです。終わると公民館へ行き、町会長、総代奥さまの温かいお茶を頂きます。

今年にはコロナの影響で、社の中で数珠は回さず、有志数名が外で回す予定との事です。



お八日念仏(以前のようす)

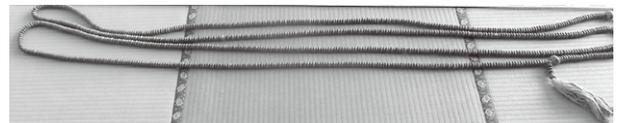
さて、このお観音さまとお八日念仏はいつからどんな理由で始まったのでしょうか？前笹賀公民館長の藤波由紀夫さんにお聞きしてみました。

これらは女人講にょにんこうというものに分類されるそうです。いつ頃から始まったのかははっきりした事は分かりませんが、関東地方を中心に、明治時代から行われるようになったと考えられています。昔女性ばかりから出なかったために社交場の様な役割もしていたのでは：と、確かにどちらも終わるとお茶タイムで世間話に花が咲きます。

藤波さんは、松本平で行われている他の地区のお八日念仏で回す数珠を見せてもらった事があるそうです。他の地区のものは形が揃っていないか、四角い形のものもあつたとの事。

本年度町会長の中村さんが「形は少しずつ変わっていかも、しなければならないけれど、継承していかなければいけない行事だと思えます。」とおっしゃっていました。

疫病＝コロナの今、大事な意味がある行事ではないでしょうか。先の事は分かりませんが、私たちの代は二つの行事をしっかり継承していきたいと思えます。



下小俣の数珠。房と大珠がまわってきたら拝礼します。

ちなみに赤羽さんは昭和8年8月8日生まれとのこと、今年で88歳になられます。ご近所付き合いも深く、趣味を通じてのお仲間も多く、たくさんの方々のお付き合いが元気の源になっているかを感じました。

明るい笑顔で、益々お元気で、お過ごしください。



菊・葉牡丹の提供に感謝

毎年晩秋のころ、笹賀公民館の玄関先に飾つてある菊・葉牡丹を知っていますか。20年余りにわたつて飾つてくれている方が「上二子町会の赤羽一夫さん」です。公民館の入口を殺風景に感じ、趣味で作った菊を鉢植えして置いてくださったのが始まりとのこと。「見た人が明るい気持ちになってくれるだけで良い」との思いで、手塩にかけて育てた菊・葉牡丹を提供していただいています。いつもありがとうございます。